

# 加藤のコラム

第1号（2014年7月）

みなさん、こんにちは。加藤潔と申します。4月からゆいの所長として仕事をしています。所長と名乗るには力不足すぎて恥ずかしい限りですが、「なんとかの恥はかきすて」という言葉もありますから、堂々と恥をかきながら少しずつ信頼される人間に成長したいと思います。今後ともご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、これから、ゆいのホームページでは、いろいろなゆいのニュースについて随時お知らせしていきたいと考えています。この意味のない加藤のコラムもときおり載せますが、このコラムは遠慮なく読み飛ばしていただいてもいいですよ。



記念すべき第1号なので、ゆいが大切にしている三つの力について（簡単にではありますが）お伝えします。私たちスタッフの力を上げていくことが利用者の方々幸福につながりますから。

## 1 支援力を上げる

ゆいは、グループホームなどの地域生活への移行を使命とした施設です。グループホーム一元化などの制度改正や福祉業界に人材が集まりにくい現状など、ゆいにとっては地域移行への向かい風が吹いている状況です。ならば、ゆい自体を第一次グループホーム的な場所だと考えて、そこから本当のグループホームに移行するという発想で環境や活動を考えなおしてみてもはどうだろうかと思っています。

また、小さな優れた支援のアイデアをスタッフ間で共有することや、スタッフそれぞれが自分の得意分野を伸ばすことで自分自身の支援の総合力を上げていくための取り組みも強化していきます。

## 2 組織力を上げる

チームごとに実践テーマを持ち、そのテーマに向かって取り組むことでチーム一丸となる瞬間が生まれます。その瞬間を何度も持つことができればチーム力はおのずと上がります。ゆいでは4つのチームがそれぞれに実践テーマを決めて取り組みを進めています。

## 3 人間力を上げる

私たちスタッフが好感度の高い人間に成長して、ゆいのイメージがアップすれば、きっと利用者さんにも好影響があると思っています。だから、あいさつだったり公用車の運転だったり建物周辺の美化だったり、社会人としてのあたりまえをおろそかにしない取り組みを考えていきます。

少し堅い話になってしまいましたね。堅い話は苦手なので、最後にそんなに堅くない話で締めたいと思います。この世に生を受けて半世紀を超えました。鏡に映る見た目は悲しいほどに衰退し、体力も落ちています。今どきの流行りものにはほぼついていけなくなっています。でも、鏡に映っていない自分、つまり自分の中から見ている自分はいつまでも若造のままなんですよ。完全なおっさんのくせにおっさんだと思っていない自分がいて、このギャップがとてまかつこ悪いのであります。おそらく円熟という言葉には一生縁のないタイプ人間だと思います。ならば、円熟ではなく未熟のまま七転八倒していいのかなと思いつつ、半熟卵にはまっている今日この頃です。

文責：加藤 潔